

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M211L301	臨床心理学 (Clinical Psychology)	専門基礎科目 心身の機構

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	3 (編4)	前	火・2, 3	関根 剛 内線: E-mail: sekine@oita-nhs.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

臨床心理学を学んでも、皆さんはカウンセラーになるわけではありません。臨床心理学の考えや方法を、いかに看護に生かすかが大切です。この講義では、看護場面に応用できるテーマを中心に解説します。そして、講義を通じて、人間の感じ方やとらえ方や人間理解の多様性に気づくと共に、看護に応用できるコミュニケーションスキルや心理学的な行動変化技法を習得してもらえればと思います。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 医療者としての臨床心理学の理論や技術について説明できる	○						
2. ロールプレイで適切なコミュニケーションを実践できる		○					
3. 臨床心理学の理論や技術を看護場面に応用できる			○				

【授業の内容】

1	カウンセリングの考え方
2	カウンセリング・スキル(1)：情報の量を増やす
3	カウンセリング・スキル(2)：情報の質をあげる
4	カウンセリング・スキル(3)：自己理解と考え方の変化を促進する
5	カウンセリング理論(1)：カウンセリング場面の実際
6	カウンセリング・ロールプレイ(1)：基礎
7	カウンセリング・ロールプレイ(2)：応用
8	カウンセリング理論(2)：クライアント中心療法
9	カウンセリング理論(3)：認知行動療法
10	カウンセリングの看護場面への応用(1)：日常生活の行動変化を促進する
11	カウンセリング理論(4)：精神分析
12	構成的エンカウンターグループ：体験を通じて自己理解を深める
13	カウンセリングの看護場面への応用(1)：学校場面。不登校や非行の理解
14	カウンセリングの看護場面への応用(2)：危機場面。PTSDと惨事ストレス
15	カウンセリングの看護場面への応用(3)：生涯発達。様々な視点からの発達課題

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	小テストの実施、質問に対する回答	・演習、ロールプレイ、動画などを通じ、体験的な理解・スキル獲得につなげる。 ・次回テーマについて事前に考えておくべき課題を示す。
B：意見の表現・交換	○	発問・グループ討議	
C：応用志向	○	ロールプレイ、構成的エンカウンター	
D：知識の活用・創造	○	日常生活改善プログラムの作成	

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	ロールプレイに向けたスキルの復習 (4h)、次回の講義の課題について検討してくる (11h)
事後学修	ロールプレイ等のレポート・日常生活行動プログラムの実行を中心に、各回の復習と応用 (15h)

【教科書】

毎回、ハンドアウトを配布します。

【参考書】

講義の中で紹介します。関心をもった事については、積極的に読むことを勧めます。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	
レポート（ロールプレイ・行動変容）	20%		○	○	
小テスト	40%	○	○	○	
総合レポート	40%	○			

【注意事項】

各回、小テストを課す。

【備考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の实務経験	臨床心理士	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	構成的エンカウンターグループ、コミュニケーションスキル等に関する演習を行う。	
授業形態	面接授業	